

事業所名

こども発達サポートCOCOLABO

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

1日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|----|-----|---------|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | | 子どもたちの自主性を重んじて、周囲との「つながり」が「そだつば」に。大人も子どもも安心した居場所に。 | | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を下げないよう、個々の気持ちにしっかりと向き合い密な関わりを行う。 COCOLABOが大好きな場所になるような雰囲気づくり。 | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 0分 | 18時 | 0分 | 送迎実施の有無 | あり |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 自分の身の回りのことは自分で確実にできるように、家庭や学校と連携を取りながら達成を目指す。また、自分の体調不良を伝えたり、健康な生活を維持できるようにはどうすればいいのか？を考えたり、自分の体調と言葉のマッチングができ、他者に伝えることができるように、絵カードなどを用いてワークの時間に取り入れる。 | | | | | |
| | 運動・感覚 | ゲーム感覚で平均台やバランスボールなどを使った運動を活動の中に取り入れており、また両足ジャンプや、俊敏性が必要になってくる遊びも取り入れる。長期休みや土曜日の活動の中には、近隣の公園へ出かける。スライムや寒天あそびなども行い、感覚への刺激やリラックスなどの効果も持ち合わせる体験をする。 | | | | | |
| | 認知・行動 | 視覚、聴覚、触感など本来、子どもたちが持ち合わせている感覚を十分活用して、認知機能の発達支援を行う。カレンダーの見方や時系列、季節の移り変わり、季節の行事等生活に必要な認知機能を個々に合った方法で習得する。物の名前や特徴、形をとらえたりする空間認知も製作活動や具体物を実際に手にして学んでいく。また、個々のこだわりなどにもできる限りの対応を行い、安定した情緒で生活を送る。 | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 自分の欲求を相手に伝える方法を個々に合わせて支援する。それぞれの絵カードを用意したり、ひらがな表を用いてのコミュニケーション法の習得。相手に自分の気持ちを理解してもらえらることで安心した生活が送れることを目標とする。また言葉数の習得や伝え方も実体験やプリント学習で支援する。子どもも支援者もより多くのコミュニケーションをとれるように必要に応じて見守ったり、会話を楽しむ時間を設ける。 | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 地域や年齢も異なる子どもたちが新しく人間関係を構築し、お互いに安定した関係を形成する。また相手の気持ちを考えたり他者理解をするためにソーシャルスキルトレーニングの時間を設ける。トラブルになってしまった際には、自分の気持ちの伝え方なども支援者と一緒に考え、将来に役立つことを経験を通して学ぶ。自分も周囲も大切に作る。 | | | | | |
| 家族支援 | | 保護者様が抱えていらしゃる悩みを聞いたり、アドバイスをすることで、保護者様とお子様安心して通所できる環境を整えている。信頼関係の構築に努めている。 | | | 移行支援 | | 進級や入学のタイミングでは学校と連携を取り、関係機関との会議などには必ず参加する。 |
| 地域支援・地域連携 | | 地域で行われるイベントには、交流や事業所を知っていただく場として参加している。他事業所との交流もある。 | | | 職員の質の向上 | | 職員会議、職員研修は月に1度行っている。対応に悩んだ際などはすぐに課題解決できるように話し合いの場を設けている。外部で行われている研修にも日程が合えば参加している。 |
| 主な行事等 | | 月に2回、講師によるミュージックケア。4月春風フェス・11月中大遺跡祭りにてスーパーボールすくい出店(社会活動)。夏休みには講師による英語教室。年1回保護者会。土曜日には映画鑑賞や遠方への外出もあり。 | | | | | |